



あらかわ治水砂防巡りを開催しました

令和6年11月3日（日・祝）、コロナ禍を経て5年ぶりに、ダイナミックSABOプロジェクト「あらかわ治水砂防巡り」を開催しました。前日までの雨が心配されましたが、爽やかな秋晴れのもと、綺麗な紅葉に包まれた荒川上流域を舞台に、羽越災害にまつわる史跡や砂防・治水の施設などを巡りました。19名の参加者の皆さまには、地域の歴史や文化の理解を深めながら、自然災害の恐ろしさとこれに対する先人たちの努力を学んでいただきました。



改築中の下土沢砂防堰堤は、令和4年8月の災害で効果を発揮しました。



丸山大橋から関川村を眺めていただきました。



赤芝峡の壮絶な歴史、代々の橋の跡を見ていただきました。



セラピーロードで森林浴をして自然と触れ合っていました。



玉川スーパー暗渠砂防堰堤の全景をバックに、記念写真の撮影です。



巨石の復興記念碑では、当時の浸水の状況を想像いただきました。

＜参加者の意見＞

- 災害の恐ろしさや備えがいかに大切かを改めて感じました。
- 普段はなかなか行くことのないような所に行けて貴重な経験になりました。
- 人々が暮らすために見えない所でもがんばっている砂防それを造ったり管理している方がいることを忘れてはいけませんと思いました。
- 砂防堰堤の役割が勉強でき大変よかったです。

国土交通省北陸地方整備局 飯豊山系砂防事務所

<https://www.hrr.mlit.go.jp/iide/>

